

図書館だより

NO. 83 2005年 1月号
(2005年1月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

あの街に住んでみたい、あんな仕事をしてみたい、あの国に行ってみたい、あのレストランで食事をしたい、あの人となら仲良くなれそう、など、気持ちがゆったいとしているときは、ふいにいろいろなことが心に浮かびます。その場面を想像して、ふっと別の世界に行ってみたりして…。それらを忘れないうちにノートに書き留めてみたい、誰かに話してみたいかがでしょう？あとになって思い返して、いくつ実現したか数えてみるのもおもしろいものです。実現しなくたって、夢見るだけでも充分楽しいとも思いますが。

今年はどうな本に出合えるでしょうか？新しい本、賞を取った本、書評などで紹介された本、友達にすすめられた本、本棚で偶然見つけた本、など本との出会いはいくつありますか？心に残る一冊に出会えるといいですね。読んだ本のリストを作ってみるのはいかがでしょう？自分の手帳の余白にでも、読み始めた本のタイトル、読み終わった後のちょっとした感想、など。一年経って手帳を替えるときには、何冊の本の記録となっているでしょう。それが積み重なってその人の読んだ本の歴史となるって素敵だと思いませんか？また、この本読んだっけ？というときにも役立ちます。カレンダーが替わった今月からいかがですか？

今月の展示

一般書

- ・年男・年女、酉年生まれの人の本 ～正面・中央通路～
今年酉年です。今年の年男・年女が書いた本、彼らについて書かれた本を集めてみました。並んでいる本を見ると、意外な本に出会えるかもしれませんよ。
- ・さくらびあ物語の本 -オーケストラ ～展示コーナー～
オーケストラに関する本の目新しいものを紹介してみます。なるほど知ると楽しいことがいっぱい詰まった本ばかりです。

児童書

- ・今年トリ年 ～こどもの本の展示コーナー～
いよいよ新しい年がスタートしました。2005年トリ年！そこで、いろんなトリ達が登場する本を用意しました。今年も一年トリ達と一緒にばたきましよう。

今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

『成功するためのビジネス書100冊』

藤井 孝一 著 明日香出版社 019.9/7
現役ビジネスパーソンの「何をを読んだらいいのか？」に答える。著者が、これは、と思った本を独断で100冊選び、それぞれに要約とコメントを付けた。ビジネスパーソンが身につけておくべき知識の概要がつかめる書。

『ほんとうはどうなの？』

上坂 冬子 著 PHP研究所 543.5/カ
プルトニウムを取り出す施設、青森六カ所村の核燃料再処理工場。その施設が完成期を迎えつつある時に、突然、「待った」がかかった。怪文書等で日本を騒がせている核燃料サイクル問題の核心と本質を、専門家に問いただす。

『夢の破片』

モーラ・ジョス 著 猪俣 美江子 訳
早川書房 933/シ
身寄りのない老女、社会に向き合うことができない中年男、恋人に去られた若い妊婦。3人は運命の糸に導かれ共同生活をはじめた。家族という幻想の先に彼らを待つものは？英国推理作家協会賞シルヴァー・ダガー賞受賞作品。

『雲、西南に流る』

平山 寿三郎 著 講談社 F/ヒ
幕府伝習所でフランス語を学んだ源三郎は、伝習隊通訳官、横須賀造船所勤務、さらに箱館戦争、横浜居留地での潜伏生活へと突き進み、その運命を変えていく。フランス語を武器に混迷の時代を駆け抜けた若き幕臣の幕末・明治。

調べるための本

その6. 物と事から調べる本 3 専門事典37 フランス文学

専門事典には、特定の分野の知識を百科事典のように編集したものと、専門用語に簡潔な解説をしている専門用語集のようなものがあります。そこで、市民図書館にある専門事典を分野ごとに紹介してみます。前回に引き続きフランス文学についての本を紹介します。

- ・ **フランス・バロック小説事典** 倉田 信子 著 近代分芸社 R950.2/7
フランス・バロック期に出現した、「恋の冒険の虚構」の得意な長編小説をまとめた事典です。「アストレ」から「クレリー」までの主要9作品を網羅してあります。登場人物の人名事典とテーマ別事項索引も付されています。
- ・ **フランス文学案内** 篠沢 秀夫 著 朝日出版社 R950.3/シ
12世紀のクレチャン・ド・トロワから現在のロフ＝グリエまで1000年に亘る作家の解説と作品を解説されています。重要作品の詳しい解説、文学史表覧、重要事項解説、翻訳文献などが整理されたフランス文学の重要な案内書です。

「絵本ジャンヌ・ ダルク伝」

ジョセフィン・プール/文
アンジェラ・ハレット/絵
片岡 しのぶ/訳
あすなろ書房 E/ハ

百年戦争の最中、フランスのドンレミ村に住むジャンヌ・ダルクは、神の声を聞き、そして神の意志を伝える声に従って立ち上がった。普通の少女からフランス救国のヒロインになった彼女の生涯を描いた絵本。

「ポップコーンをつくろうよ」

トミー・デ・パオラ/作 福本 友美子/訳
光村教育図書 616/テ

アメリカの先住民族は、何千年も昔からポップコーンをいろいろな作り方で食べていた。ポップコーンに適したとうもろこしは？保存方法は？ポップコーンの歴史や“おいしい”秘密を大公開した本です。

「ニュースの現場で考える」

池上 彰/著 岩崎書店 699/イ

著者は子どもの頃から新聞記者になる夢を持ち、NHKのニュースキャスターとなった。「週刊こどもニュース」の池上家のおとうさんが、自分の経験を元に子どもたちにテレビニュースの現場について紹介する。

「ニッポンの風景」

島田 アツヒト/絵と文
あすなろ書房 E/シ

野原から村へ、村から街へと変化する風景を1本の木は同じ場所でじっと見ています。大阪の住吉大社の樹齢1000年のくすの木をモデルに、移りゆく時代を丹念に描いた風景絵本。

「くまちゃん、どこいくの」

もりやま みやこ/作 ポプラ社
たかはし かずえ/絵 913/エ

くまちゃんが友たちの家に遊びに行くとき出かけた後、そこでくまちゃんはひとりで、みんながまだ行ったことのない所まで行くことにしました。ひとりで未知の世界と行く姿がほほえましい物語。

「スカイラー通り19番地」

E.L.カニグスバーク/作 金原 瑞人/訳
岩波書店 933/カ

12歳のマーガレットは、両親が不在のため、夏の間サマーキャンプに参加することになった。ところが、彼女はそこで仲間からのいじめにあって…。自分の意志を貫き、成長する少女を描く。現代のアメリカ児童文学を代表する作家の最新作。

- 『わにのスワニーなぞなぞえほん—どんなもんだい！の巻一』 中川ひろたか 著
あべ弘士 絵 講談社 E/ア
- 『しろいやみのはてで—あらしのよるに特別編一』 きむらゆういち 作 あべ弘士 絵
講談社 E/ア
- 『子どもに語るモンゴルの昔話』 蓮見治雄 訳・再話 平田美恵子 再話
こぐま社 929/コ
- 『二回目のキス』 ウルフ・スタルク 著 菱木晃子 訳 はたこうしろう 絵 小峰書店 949/ス
- 『ウルフ・サーガ 上・下』 ケーテ・レヒアイス 作 カレン・ホルンダー 画 松沢あさか 訳
福音館書店 943/レ

狼たちの一大叙事詩。1997年刊を文庫版で再刊。

図書館からのお知らせ

毎月第2・4土曜日と第1・3金曜日に「おはなし会」を開いているのはご存知ですか？図書館職員とボランティアの人とが協力して行っているものです。

具体的には、

ちいさいこのためのおはなし会 1・3金曜日 おはなしコーナー
おはなし会 2・4土曜日 図書館会議室

毎回20名前後の子どもたちとその保護者で、にぎやかで楽しい会となっています。参加者が年々増えていて、とてもうれしく思っています。毎回参加という常連さんもおられます。楽しい絵本の世界をのぞいてみませんか？

さて、来年度(平成17年度)のおはなし会の日程調整をします。地域でおはなし会をされている方、一緒に図書館でおはなし会をしませんか？

平成17年度おはなし会日程調整

とき 平成17年 2月9日(水) 10時～12時まで

ばしょ 市役所7階会議室

日ごろの活動の様子や、図書館でのおはなし会の反省や気付きなど、

話をする時間を取りたいと考えています。

図書館からのお願い

＜特別整理期間にともなう

返却ポストの利用について＞

今年の特別整理機関は、

2月14日(月)～28日(月)

です。この間、返却ポストの利用はできますが、みなさんにお願ひがあります。返却ポストは、容量に限りがあります。できるだけ、図書館が開館してから窓口へお持ちください。本の傷みを防ぐことにもなりますので、ご協力をお願いいたします。

利用案内

開館時間 10:00～18:00

貸出冊数 図書 2週間 5冊

視聴覚資料 2週間 2点

休館日 月曜日(祝日のときは翌日)

毎月月末日(その日が土・日・月

のときはその翌日)

返却ポスト 1. 正面玄関向かって左

2. 図書館裏駐輪場右